

## IT企業等と計測データに基づく栽培管理システムを開発(三重県)

- 高品質みかん産地に向けて、環境条件や生育状況のリアルタイム測定等により生産者や普及指導員に技術情報をフィードバックするシステムをIT企業(NECシステムテクノロジー(株))と開発。
- システムを活用した栽培管理により、果実品質や収益が向上。(収益:H22度実績 慣行比15%増)

(連携体制)

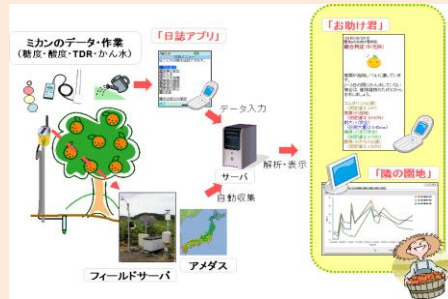
紀州普及センター、県農業研究所、IT企業(NECシステムテクノロジー(株))、三重大学、JA

(普及組織の取組)

- ・モデル園を設置し、システムを活用した栽培管理による果実品質の向上や収益の向上を確認。
- ・現地の生産者によるモニター試験を実施し、普及に向けた課題を明確化。
- ・プロジェクトメンバーの意識統一と進行管理を実施。



フィールドサーバとプロジェクトメンバー



システムの構成

## 機械メーカーと散水制御機を開発(鹿児島県)

- 県農業開発総合センターで開発した茶の節水型防霜制御法「0°C制御」システムを組み込んだ制御器開発を機械メーカー((株)日本計器鹿児島製作所)に依頼。
- 完成した散水制御機を先進農家と連携して現地で実証し、研究開発からわずか2年間で地域に普及。(普及面積:約380ha)

(連携体制)

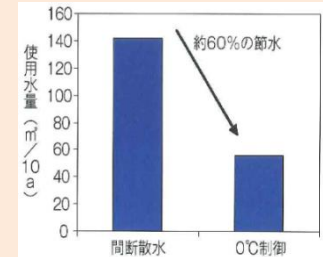
曾於畑地かんがい農業推進センター(普及センター)、県農業開発総合センター、機械メーカー((株)日本計器鹿児島製作所)

(普及組織の取組)

- ・機器開発段階から実証と評価を実施し、現場ニーズに応じた開発を支援。慣行と比較して60%の節水効果を実証。
- ・茶業振興会や土地改良区と連携し、実演会や説明会を繰り返し開催し、普及を促進。



散水制御機



節水効果の比較

## 小さな経営から規模拡大を加速させるため、 民間企業との選別装置の開発で産地が変革 (香川県)

- 普及組織がレタス産地の産地構造改革を行う中、JAと連携し、地元計測機メーカー(四国計測工業株式会社)に働きかけ国内唯一のレタスの高能率選別包装機を開発。出荷調整作業の分業化を達成
- レタス出荷調整作業システムが導入され、小さな家族経営主体の産地から8法人と40歳以下の若い担い手40名が育ち、新たな担い手による栽培面積は産地面積の57%を担う構造改革の成果を得た

(連携体制)

西讃農業改良普及センター、農業革新支援専門員、計測機メーカー(四国計測工業株式会社)、旧JA香川豊南

(普及組織の取組)

- ・普及は地元生産者に分業化の省力効果をPRし、レタス栽培面積の規模拡大を推進。
- ・JAと産地改革について議論する中、レタス選別システムの重要性が明らかになり、四国計測工業(株)に高能率選別包装機の製作を提案し、開発に至る。



高能率レタス選別包装機



豊南若い担い手会

## 農機メーカーと小豆収穫機を開発 (石川県)

- 普及組織の調査で地域ブランド「能登大納言小豆」の作付拡大のためには収穫作業の機械化が必要であることが判明。県試験場に機械開発を依頼。
- 県試験場、農機メーカー(株クボタ)が収穫機を開発し、普及組織が現地で実証・改良することで大規模農家が導入。収穫作業時間が6分の1に削減。

(連携体制)

中央普及支援センター、奥能登農林総合事務所(普及センター)、県農林総合研究センター、農機メーカー(株クボタ)

(普及組織の取組)

- ・既存の機械(刈り払い機)による方法では振動で小豆の落下による収穫ロスが多いことなどの問題点を把握。
- ・農機メーカーと試験場等、関係機関のコーディネートを行い、プロジェクトチームを設置。
- ・開発機の普及に向けて、実演会や実証・改良を実施。



開発した小型収穫機

|       | 10a当たり<br>作業時間 |
|-------|----------------|
| 収穫機   | 40分            |
| 鎌(慣行) | 11時間           |

省力効果の比較